

# JFAバーモントカップ 第36回 全日本U-12フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ることを目的とする。併せてJFAバーモントカップ第36回全日本U-12フットサル大会北海道代表決定戦を実施する。
2. 名 称 JFAバーモントカップ 第36回全日本U-12フットサル選手権大会 北海道代表決定戦
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会・一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 釧路地区サッカー協会・釧路フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会・公益財団法人北海道スポーツ協会・釧路市教育委員会、釧路市スポーツ協会
6. 特 別 協 賛 ハウス食品グループ本社株式会社
7. 協 力 株式会社ミカサ
8. 期 日 2026年7月18日(土)～7月19日(日)
9. 会 場 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ  
〒085-0064 北海道釧路市広里18 TEL：0154-38-9800
10. 参 加 資 格
  - (1) フットサルチームの場合
    - ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」という。)に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する2014年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする(準加盟チームを除く)。
  - (2) サッカーチームの場合
    - ① JFAに「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する2014年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする(準加盟チームを除く)。
  - (3) 前項の(1)と(2)のチームに該当する選手のうち、U-6カテゴリーに属する選手の参加は認めないものとする。
  - (4) 前項の(1)と(2)のチームは、12歳以下の選手により構成されるチームである。ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。
  - (5) 本大会の予選(地区大会・ブロック大会)を通して、選手は他のチームで出場していないこと。所属するチームが複数のチームで出場する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが出場する場合を含む。
  - (6) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
  - (7) 北海道5ブロック(札幌・道央・道南・道東・道北)の予選大会を経て、所轄する所属地区サッカー協会が認めたチームであること。
  - (8) (公財)北海道サッカー協会(以下、「HKFA」という)における本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
    - ① フットサルチームの場合：2,000円
    - ② サッカーチームの場合：4,000円
  - (9) 当該年度の(一社)北海道フットサル連盟(以下、「HFF」という。)に加盟したチーム。(HFFフットサル年間加盟登録料の納入を以って加盟したチームとする。)

11. 参加チームおよびその数 参加チームは、次の各号により選出された16チームとする。
- (1) 各ブロックの参加チーム数は以下のとおりとする。
- ・札幌ブロック： 4チーム (札幌)
  - ・道央ブロック： 3チーム (千歳・小樽・空知・北空知)
  - ・道南ブロック： 3チーム (函館・室蘭・苫小牧)
  - ・道東ブロック： 3チーム (十勝・釧路・根室・オホーツク)
  - ・道北ブロック： 3チーム (旭川・道北・宗谷)
- (2) 各ブロックの代表チームが参加を辞退した場合、そのブロックにおける代表チームの次の順位となるチームが本大会の参加資格を得るものとする。
- (3) 不参加地区が生じた場合等の理由により、参加チーム数が16チームに満たないときは、HKFAフットサル委員会が決定する。
12. 大会形式
- (1) 予選ラウンド：  
出場16チームを4チームごとの4グループに分けリーグ戦を行う。  
なお、同地区出場チーム同士は、同グループでは対戦しない。
- (2) 予選ラウンドにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。なお、下記の「当該チーム内」とは、同一ブロックで勝点合計が異なるチームを除き、勝点合計が同一のチーム同士で比較すること。
- ① 当該チーム内の対戦成績
  - ② 当該チーム内の得失点差
  - ③ 当該チーム内の総得点
  - ④ グループ内の得失点差
  - ⑤ グループ内の総得点数
  - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
    - (ア) 警告1回 1ポイント
    - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
    - (ウ) 退場1回 3ポイント
    - (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント
  - ⑦ 前項①～⑥の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
- (3) 決勝ラウンド：  
① 予選ラウンド各グループの1位チームおよび2位チーム、計8チームによるノックアウト方式で優勝以下第3位までを決定する。  
② 第3位決定戦は行わない。  
③ 予選ラウンド同組同士はラウンド8の1回戦では対戦しない。
- (4) 交流戦：  
① 交流戦は、希望する全てのチームが参加できる。  
② 主管FAに所属するチームの参加を認める。  
③ 交流戦の組み合わせは、主管により決定する。
13. 競技規則 大会実施年度のJFAフットサル競技規則により実施する。
14. 競技会規程
- (1) ピッチ：  
① ピッチの大きさ：原則として、32m×16m  
センターサークルの半径：2.5m  
ペナルティーエリア四分円の半径：5m  
ペナルティーマーク：5m  
第2ペナルティーマーク：8m  
交代ゾーンの長さ：4m  
タイムキーパーの机の前のエリア：  
ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m  
② 守備側競技者のボール等から離れる距離  
フリーキック：4m  
コーナーキック：4m  
キックイン：4m  
なお、使用する体育館の形状により変更する場合がある。

- (2) ボール: 試合球:ミカサ製 FS350E-BK 3号ボール
- (3) 競技者の数:  
競技者の数:5名  
交代要員の数:5名以内  
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内。
- (4) チーム役員の数: 3名以内
- (5) ユニフォーム:  
① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。  
② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。  
③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。  
④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。  
⑤ ゴールキーパーが怪我や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用することができる。  
⑥ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。  
⑦ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。ユニフォーム生地に布等を縫い付けて番号等を掲示(以下、「貼り番」という。)することは原則認めないが、下記⑧および⑨の場合に限り認める。  
⑧ 貼り番する場合に、事前に登録されたユニフォームの主たる部分色と同色布地を使用し、四辺が縫い合わされていること。掲示される番号についても事前に登録されたユニフォームに取り付けられた番号色と同色にて掲示するものとする。なお、登録されたユニフォームの主たる部分色が複数色(縦縞・横縞等)である場合は大会運営委員会の判断および決定に従うものとする。  
⑨ 上記⑧について、緊急性を要する事情、または突発的な事情により急遽、対応しなければならない事情(貼り番を白布地・黒番号等とする使用)が生じた時は、会場運営責任者の承諾を得た場合のみ上記⑧の適用を除外とすることができる。その際はマッチコーディネーションミーティング(以下、「MCM」という。)時に確認する。会場運営責任者は事後に大会運営委員長に届出すること。  
⑩ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。  
⑪ 正・副の2色については明確に異なる色とする。  
⑫ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。  
⑬ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。  
⑭ Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については前項⑩に準じる。  
⑮ その他のユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

靴： キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)ただし、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。なお、チーム役員にも適用する。

ビブス：

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(6) 試合時間

① 予選ラウンド：

16分間(各8分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

② 決勝ラウンド：

20分間(各10分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

③ 交流戦：

30分間(各15分間からなる2つのピリオド)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

① 予選ラウンド： 引き分け

② 決勝ラウンド(決勝戦を含む)：

PK戦により勝敗を決定する。PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

③ 準決勝戦(地域代表決定戦)：

6分間(各3分間からなる2つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合はPK戦により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

(8) タイムアウトは、決勝ラウンドにおいて適用する。

15. マッチコミッショナー等

決勝および準決勝にマッチコミッショナーと決勝ラウンド1回戦からマッチウエルフェアオフィサーを配置する。

16. 懲 罰

(1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

(2) 本大会の予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、ブロック予選の終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。なお、準決勝進出チームの選手が受けた準々決勝までの警告の累積は、準決勝以降に持ち越さない。

(5) 前項(4)により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。

(6) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。(ただし、JFAバーモントカップ第36回全日本U-12フットサル選手権大会出場チームはこの大会で行うこと。)

(7) 本大会の大会規律委員会は、出場停止処分2試合までの懲罰問題を処理する。

(8) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(9) 大会規律委員会の委員長は、本大会の競技委員長とし、委員は2名以上で構成すること。

(10) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が協議する。

17. 参加料等

参加料47,000円・審判不帯同料16,500円(消費税10%込)とする。

18. 参加申込
- (1) 1チームあたり24名(選手20名、役員4名)を上限とし、選手は本大会の予選となるブロック大会に登録していること。ただし、3名を上限に本大会の予選となるブロック大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第10条に定める参加資格を満たしていなければならない。
  - (2) 参加申込は、所定の書式(下記(8)申込先(A)に記載の a~e )を下記(6)の期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てにE-mailで送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。  
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
  - (3) 参加料等は、申込みと同時に申込先(C)へ納入すること。
  - (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を下記(6)の期日までに申込先(B)に送付すること。なお、2026年度中に提出済みの場合は不要。
  - (5) ユニフォームに広告を掲示する場合は、当該年度のユニフォーム広告掲示回答書写しを(A)宛に送付すること。
  - (6) 申込締切日： 2026年6月26日(金)15時まで厳守とする。
  - (7) 上記(6)申込締切日以降の参加申込書の内容変更について、以下の通りとする。  
所属地区サッカー協会を通じて所定の書式をE-mailにて提出すること。
    - ① 選手の変更は、2026年7月9日(木)15時まで認める。ただし、3名を上限に本大会の予選となる地区大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第10条に定める参加資格を満たしていなければならない。
    - ② 役員及び帯同審判員の変更は、2026年7月15日(水)15時まで認める。
  - (8) 申込先(A) 所属地区サッカー協会事務局
    - a 参加申込書(E-mail)  
※選手およびチームの登録番号を必ず記載のこと。
    - b ユニフォームカラー報告用紙(E-mail)  
※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。  
(デザイン画不可)
    - c プライバシーポリシー同意書(E-mail)
    - d 懲罰処分についてのアンケート(E-mail)
    - e ユニフォーム広告掲示回答書写し
- 申込先(B) (公財)北海道サッカー協会  
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41  
北海道フットボールセンター 内  
TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101  
・親権者同意書(郵送) ※チーム対応  
・地区予選結果(E-mail) ※申込先(A)が対応
- 申込先(C) 釧路地区サッカー協会  
〒085-0003 釧路市川北町7番17号  
E-mail : [kushiro-fa-m@vesta.ocn.ne.jp](mailto:kushiro-fa-m@vesta.ocn.ne.jp)  
・参加料47,000円・審判不帯同料16,500円(各消費税込)  
[大会参加料等振込口座]  
北海道銀行 鳥取支店 普通 0541835  
釧路地区サッカー協会 会長 三森 敏司

19. 組合せ 組み合わせは、HKFAフットサル委員会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果はHKFAの公式ホームページにて確認すること。

<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)

20. 帯同審判
- (1) JFAフットサル3級審判員を2名以上、またはJFAフットサル2級審判員を1名以上帯同させること。帯同審判員は、予選ラウンドにおいて主として第2審判または副審を担当するものとする。また、交流戦の審判は対戦するチームが相互に担当するものとする。
  - (2) 決勝ラウンドの審判員は、HKFA審判委員会および主管FA審判委員会が配置する。
  - (3) 帯同審判員は、チーム役員(監督を含む)を兼ねることができるが、担当する審判業務を優先すること。
  - (4) 決勝ラウンドに進まないチームに帯同する審判員は、決勝ラウンドの審判業務は原則行わない。

- (5) 審判員を帯同出来ない時には、審判不帯同料16,500円を申込先(C)に納入すること。(不帯同1名につき8,250円とする。)(各消費税込)
21. 監督会議 (1) 日 時：2026年7月8日(水) 19時30分から  
(2) 会 場：オンライン会議とする。  
会議用URLは、後日チーム連絡責任者宛てに送付する。
22. 開 会 式 開会式は実施しない。
23. 表 彰 および閉会式 (1) 優勝、準優勝チームおよび第3位のチームには表彰状およびトロフィーを授与する。なお、優勝チームには(公財)北海道サッカー協会杯を授与して次回までこれを保持する。  
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場にて行う。
24. 負傷および事故の責任 (1) 大会期間中の負傷および事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師および救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。  
(2) 参加チームはスポーツ保険またはそれに準じた保険(物損等損害賠償が対象となるもの)に加入していること。  
(3) 競技の如何を問わずチームの行為に起因して施設や用具を破損した場合は、当該チームがその実費を弁償すること。
25. そ の 他 (1) マッチコーディネーションミーティング  
① 予選ラウンドは、キックオフ時刻の40分前、決勝ラウンドはキックオフ時刻の80分前にそれぞれ運営委員、両チーム代表者、審判員との簡易的なMCMを行う。チーム代表者は必ずMCMに出席しなければならない。  
② 決勝および準決勝においては、JFA認定マッチコミッショナー、マッチウエルフェアオフィサー、運営スタッフ、両チームの監督および審判員出席のもと以下について行う。  
(ア) 選手証のチェックを行う(MCMの際、各チーム持参すること)。  
(イ) FPおよびGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。  
(ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
- (2) メンバー提出用紙：  
メンバー提出用紙は、MCM時に提出すること。
- (3) 選手証：  
各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。  
※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (4) チームの監督は、監督会議の出席および各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合、および試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールによりHKFA事務局に理由および監督代行者(参加申込書記載の役員から)氏名を記載してHKFA事務局にE-mailにて届け出すること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。また、不測の事態等のやむを得ない事情により監督が試合当日に欠席する場合は、電話等で会場運営責任者に連絡すること。会場運営責任者は事後に大会運営委員長に報告すること。  
① 監督会議を無断欠席した場合は、大会規律委員会にて処分を協議する。  
② 試合当日に無断欠席した場合は、当該試合は棄権試合とする。
- (5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。  
(6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。  
(7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。スポーツドリンクを摂取する場合は主管の指示に従うこと。

- (8) 本大会にあたっては、以下通知の通りとする。  
『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後の HKFA主催事業 について(通知)』  
<https://www.hfa-dream.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/HKFACOVID-19Category5Update.pdf>
- (9) 優勝および準優勝のチームは、2026年8月9日(日)～11日(火祝)に東京都/駒沢オリンピック公園総合運動場で開催される JFAバーモントカップ第36回全日本U-12フットサル選手権大会の出場を義務付ける。ただし、優勝または準優勝のチームが出場辞退をHKFAフットサル委員会が認めた場合は、第3位のチームを繰り上げて出場させるものとする。なお、第3位のチームは、準決勝を敗退した2チームによる抽選により決定する。また、本大会への出場にあたり、JFAよりチームに対して交通費および宿泊費の一部が補助される。
- (10) 組み合わせ決定後にチームが参加を辞退した場合、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (11) 本開催要項に記載のない事項については、HKFAフットサル委員会にて決定する。

以上